



「まご楽校」笹巻きづくり体験

昔からの伝統を地域のかたから学ぶ

白い森学習支援センターが主催する「まご楽校」が6月27日、旧北部小中学校で開催されました。

当日は小中学生、小国高校生など25人が参加し、地域のかたがたに笹巻きの作り方を教えてもらいました。

参加した小学生は「昨年も参加し、今年はより上手にすることができました」、「笹を丸めてコメを入れる動作が難しかったですが、講師のかたに教えてもらいながら最後は上手にできました。」と話していました。



▲講師に教わりながら笹巻きづくり

クマ出没対策研修会

出没要因を考えて対策を

7月2日、小国町観光協会が主催するクマ出没対策研修会がおぐに開発総合センターで行われ、町内で観光業などに従事するかたなど約20人が参加しました。

研修会では、合同会社東北野生動物保護管理センター技術員を講師に迎え、クマの習性や出会った時の対処法などの講話とクマスプレーの使用訓練を行いました。参加者は、クマの出没に関する知識を再確認し、講師との質疑応答等を行いながら、それぞれの現場での対応策について学びを深めていました。



食べて学ぶ地産地消給食

町内産ブランド食材を味わう

7月10日、町内各小中学校において、町内産ブランド食材から小国町再発見」をテーマに食べて学ぶ地産地消給食が提供されました。

この日の献立は、町内で生産されている県のブランド魚「ニジサクラ」の混ぜご飯のほか、町内産の野菜や県産牛肉を使った「牛肉の旨煮」「なめこ汁」。

小国小学校では食育指導として6年生を対象に、県水産技術振興センターの研究員による「ニジサクラ」の誕生から出産、出荷についての講話と会食が行われ、児童からは「今まで食べたご飯の中で一番美味しい」「小国でとても美味しい魚がつかられてとても光栄」という感想が聞かれました。



▲ニジサクラの混ぜご飯をほおぼる

第2回小国学講座

大里峠を歩き歴史を学ぶ

講話や現地見学を通し町の歴史を深く学ぶ小国学講座（小国町教育委員会主催）の今年度2回目の講座となる「大里峠を歩き学ぶ」が、7月11日に開催されました。

当日は町内から4人が参加し、関川村沼側から入山し、約5時間30分かけて大里峠越えトレッキングを楽しみました。鉱山跡や地藏堂、凶霊供養塔など随所で由緒や伝説について講師に解説していただき、人々が盛んに行き来していた峠道の姿に思いを馳せました。



第32回白い森ニュースポーツ大会開催

競いながら地域間の交流を楽しむ

第32回白い森ニュースポーツ大会が、7月12日に町民総合体育館と小国小学校体育館を会場に開催されました。当日は200人近くの町民が参加し、ソフトバレーボール、カーリンコン、スポレックの3種目で熱戦を繰り広げました。スポレック競技では、ラリーが続くたびに歓声が上がり、点数を決めた際には地区全体で盛り上がっている様子がみられました。

【総合順位】優勝 沖庭地区／準優勝 町岩東地区／第3位 東南部地区
【各種目別優勝地区】

ソフトバレーボール 沖庭地区／カーリンコン 沖庭地区／スポレック 白沼地区



▲スポレック競技の様子

泥んこフェス開催

泥にまみれて熱戦を展開

7月20日に東部地区体育協会（伊藤正俊代表）主催の「泥んこフェス」が叶水地区において開催されました。このイベントは今年で8回目の開催となり、東部地区のかたをはじめ、協力隊員、小国高校生などで組まれた計9チームが出場しました。

当日は泥に覆われた田んぼを会場としてドッジボール競技が行われ、参加者は、時折泥の中に倒れこむなど体中が泥だらけになりながらもボールを追いかけて、晴天の中での熱戦を繰り広げていました。

